

3WA

笑・和・輪

笑い合い、支え合い、学び合う 仲間をめざして!

授業ノート

テストの振り返りは大切・・・でも・・・

授業ノートを見直そう

中学校で初めての「定期テスト」が終わり、待ちに待ったクラブも始まりました。テスト返却も終わり、「テスト前に頑張ったから、よくできたな」「初めてやったし範囲も広くやり切れなかったし、こんなもんか」・・・いろんな感想を持ったことでしょう。

テスト返却時に○か×かのチェックだけでなく、その問題の解説やポイントなどの振り返りをしました。そのことが2学期以降のテストに繋がっていくので、とても大切なことですね。でも、もうひとつ大切なことがあります。テスト勉強の『元』になる『授業ノート』を見直しましょう。小学校からずっと授業でノートをとってきて、もう7年目ベテランですが、ちょっと自分のノートの書き方を見てみましょう。下は3年生の学級通信の記事です。とても参考になりますよ。

ノートの基本は「気持ち」と「テクニック」



まずは、ノートの書き方の基本から。大切なことは二つ。書くときの「気持ち」と効率よく整理するための「テクニック」です。この二つが両輪となり、ノート力をアップさせてくれます。

「気持ち」は、目的を明確にすること

ノートは、板書を写すだけ、漫然と書いているだけでは、成績を上げることはできません。ノートは、誰のためでもない、自分のために書くものです。学んだ内容を理解し、見直して思い出すために書くものです。ですので、書く際には、かならず目的を明確にしてください。授業ノートであれば、「授業を100%理解する!」や「定期テストの勉強に使えるノートにする」などと意識することで、主体的に勉強に取り組むことができるようになり、自分の目的に合わせて役立つと感じられるノートが書けるようになります。

効率的に整理する「テクニック」

レイアウトが乱れたノートは、やる気を急

降させます。情報や知識を手早く見やすく整理するテクニックを三つ紹介します。

テクニック1 インデックスをつける

ページの上にタイトルや関連する教科書のページ数などを入れましょう。内容を意識しながら書けるだけでなく、見直しの際に教科書のページが見つけやすくなります。

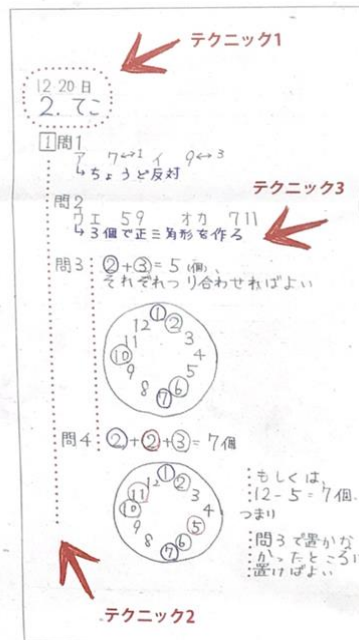
テクニック2 文頭をそろえる

文頭を全て左端にそろえるのではなく、大見出しを書いたら、2文字ほど下げて小見出し、また2文字ほど下げてその内容と、内容ごとに文頭をそろえると、構造的に整理できます。

テクニック3 色はルールを決める

色数が多いと、どこがどれくらい大切かわかりづらくなります。色数は少なく、「赤色は、最重要事項」「青色は、まあまあ大切な部分」などルールを決めましょう。重要な箇所が目で見える、メリハリのある構成になります。

書く目的を明確にし、三つのテクニックを使うだけで、ノートは格段に見やすくなります。



都立小石川中等教育学校に合格した森本晴斗さんが、小6のときに書いた理科の問題演習ノート

7月の予定

※ 給食が×のところは弁当を持ってきてください

	行事	給食		行事	給食
1 木		○	17 土		
2 金	心臓精密検査 ワックスがけ	○	18 日		
3 土			19 月	個人懇談5 学年集会(2限)	×
4 日			20 火	終業式 大掃除	×
5 月		○	21 水		
6 火		○	22 木		
7 水		○	23 金		
8 木		○	24 土		
9 金		○	25 日		
10 土			○	26 月	
11 日			27 火		
12 月	個人懇談1	×	28 水		
13 火	校外学習	×	29 木		
14 水	個人懇談2	×	30 金		
15 木	個人懇談3 ボランティア	×	31 土		
16 金	個人懇談4 ボランティア	×			

8月 9月の予定

8月25日(水) 始業式 宿題テスト: 英語 理科

9月 9日(木) 専門委員会

9月13日(月) 生徒集会(放送)

9月21日(火) 中間テスト

9月22日(水) 中間テスト

9月30日(木) 体育祭

